

キャラクター名  
黒江 花子 (くるえはなこ)

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー	ワークス	高校生	カヴァー	高校生
	ブラム=ストーカー		年齢		14
オプション					
覚醒	憤怒	衝動	自傷	初期侵食率	47 %
出自	安定した家庭	経験	大事故	邂逅	復讐

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	32
肉体	2	1	0			3	行動値	14
感覚	4	0	0			4	(非装備時)	14
精神	2	0	0	4		6	戦闘移動	19
社会	0	0	0		1	1	全力移動	38

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	7		交渉		
回避	1		知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
緋二染マル翼	RC	6r+7	0	25		~60 侵蝕率2 範囲(選択)
途切レヌ螺旋ノ赫	RC	6r+7	0	45		~80 侵蝕率4 範囲(選択) 装甲無視
死ヲ刻ム紅蓮	RC	6r+7	0	54+6D		~100 侵蝕率4 範囲(選択) 装甲無視

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
従者の選別	
従者の安らぎ	
メモリー: 水村ひかり	
ストレンジフェイス	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイマス消費
欲望適合者	P	N	
家族	P 遺志	N 隔意	
化け物	P 傾倒	N 憎悪	
水村ひかり	P 庇護	N 自由	
	P	N	
	P	N	
	P	N	

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:ブラム=ストカー	2	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果:	C値-[Lv]							
血の戦馬	1	3	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果:	従者一体を消滅させ、[制限: 従者専用]の効果を自分で使用できる。							
赤色の従者	1	5	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	能力値3、最大HP [Lv×5+10] の従者召喚。シーン中1体まで、自身の判定ダイス-3。							
血の絆	5	3	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	《紅の従者》はシナリオ終了時まで存続、1シナリオLv回。							
愚者の兵装	7	-	常時	至近	自身	自動	従者専用	
効果:	従者専用アイテムを [Lv] 個取得。							
実体なき一撃	1	2	Xジャー	-	-	対決	従者専用/80	
効果:	装甲無視、HP5点消費							
闇夜の呪い	5	2	Xジャー	至近	範囲(選択)	対決	従者専用/100%	
効果:	攻撃力+[Lv×5]、メインプロセス終了時、HPO							
最終舞踏	5	6	Xジャー	-	範囲(選択)	対決	従者専用/100%	
効果:	攻撃力+[Lv]D、対象を範囲(選択)に変更、メインプロセス終了時HPを0に変更。							
声なきものども	5	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	1シーンに作り出せる従者+[Lv]、侵蝕値基本値+7。							
愚者の軍団	5	5	Xジャー	至近	自身	自動	100	
効果:	《赤の従者》で作り出す数+[Lv]。							
赤河の従僕	6	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	従者の能力値+[Lv]。基本侵蝕値+3							
サポートモード	7	2	セットアップ	至近	自身	自動	従者専用	
効果:	ラウンド中任意のキャラクターの行う、あらゆる判定を+[Lv]する。この効果を使用したキャラクターは行動済みとなる。							
犠牲の血	2	3	オート	視界	効果参照	自動	自傷/120	
効果:	「対象: 範囲」「対象: 範囲(選択)」の攻撃が行われた際使用する。対象を自身ひとりに変更する。1シナリオLv回。							

氷森市の高校に通う高校三年生。  
不良風な外見と鋭い目つきが特徴的で、あまり学校顔を出さず、もっぱら街中で姿を見かけることが多い。  
口数は少なく不愛想であり、人付き合いに消去的な態度のためか同級生や教師からの評判は非常に悪い。  
また数少ない友人に対してもあくまで冷たい態度を取り、自身について決して深く聞かせようとはしない。  
一方で義理堅く一度受けた恩はきっちり返さねば気が済まない性格をしており、彼をよく知る人物からすれば本質的には心優しい少年なのだからか。  
彼女の両親は7年前、とあるバスで起きた爆発事故に遭った際、どちらとも他界している。  
同じく事故に巻き込まれた彼女は奇跡的に一命をとりとめたが、その時現場で一匹の巨大な化け物が爆風が吹き荒れるの渦中に佇んでいるのを目撃した。  
当時すぐに警察にそのことを話したがまったく相手にされなかった。結果として爆発事故はバスの整備不良によるトラブルとして片づけられ、彼女の証言は事故で錯乱してみた哀れな子供の妄想として処理されることとなった。  
それから月日が経ち高校生となった彼だったが、未だに事故の一件を引きづっており、暇を作っては当時の詳細や自身が確かに見た化け物に関する情報をかき集めている。親しきものからはもう終わったことだと、やめるよう諭されることもあった。だが理不尽に死んでいった両親への想いがそれを拒み、引き止める手を全て振り払い続けた。いつしか誰ともわかれあえない孤独感に溺れていき、他者を寄せ付けぬ攻撃的で厭世的な性格へと変わっていった。

そういった日常の中で、彼女は首ちょんぱされることとなる。

